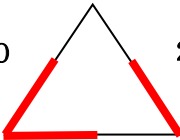



県大会決勝戦 戦評用紙

(記録抄用)

大会名	令和3年度 日硝ハイウエー杯・第13回三重県ヤングクラブバレーボール選手権大会 (兼) ジャパンヤングクラブカップ 第24回	参加数	3	
	全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 三重県予選会	男 6 女 9		
期 日	令和3年5月30日 (日)	会 場	菟野町体育センター	
戦 績	第1位	LARKS 14 (2勝)	第3位	ヴィアティン三重U14 (2敗)
	第2位	gravis (1勝1敗)		
戦 評				
<p style="text-align: center;">ヴィアティン三重U14</p> <p style="text-align: center;">2 (25-15 25-21) 0 2 (23-25 25-21 15-9) 1</p> <p style="text-align: center;">LARKS 14  gravis</p> <p style="text-align: center;">2 (25-14 25-14) 0</p>				
<p>男子は、3チームによるリーグ戦で行われた。</p> <p>初出場・初優勝を目指すグラウイスと、4年ぶりの優勝を目指すラクス14が行う3試合目が事実上の決勝戦、ガチンコ勝負となった。</p> <p>1セット目、ラクス14の強烈なサーブで崩し、服部・川瀬のレフト攻撃を軸に多彩な攻撃が決まり、グラウイスにリードを許さずそのまま押し切った。2セット目、序盤7対9の接戦からラクス14の強烈なサーブが1セット目と同様に決まり、またセンターからは青木、ライトからは出口・小林の攻撃で点差を広げ、2-0で勝利し、4年ぶりの優勝を果たした。</p> <p>残念ながら敗れたグラウイスは、アタッカー渡邊とセッター宮崎、高さの辻の活躍で、今後が楽しみなチームだった。またヴィアティン三重は、守備の粗さが目立つものの、豊田、佐々木の攻撃、高さの松村に今後期待したい。なお、優勝したラクス14は、中学生離れした高さを活かしてヤングバレーの全国大会優勝を目指し、練習に励んでもらいたい。</p>				
		戦評者名 (藤 田 和 宣)		
備考	<p>1. 各種別、男女毎に戦評をする。</p> <p>2. 戦評は250字程度でまとめる。</p> <p>3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。</p>			